Nishitan Clinic
にしたんクリニック

プラセンタ注射に関する説明書・同意書

プラセンタ注射はヒトの胎盤から抽出されるもので、医療機関のみで受けられる注射です。現在、厚生労働省で認可されているヒトプラセンタは、[ラエンネック][メルスモン]のみで、当院では、[ラエンネック]を使用しております。
[メルスモン]は更年期障害、[ラエンネック]は肝機能障害の改善の目的で保険適応が認められていますが、美容目的では自費診療となっております。

ラエンネックの主な効果

①肝機能障害の改善
ウィルスやアルコールで壊死した肝組織を修復し、肝細胞の脂肪変性を改善します。

②アンチエイジング
老化の原因となる活性酸素の発生を抑制・中和します。ダメージを受けた細胞を修復し新陳代謝を高める為、皮膚のターンオーバーが正常化されます。

③美肌効果
メラニン色素の生成を抑えてシミ・くすみを取り、コラーゲンの生成を支えます。

④血行促進・保湿
末梢の血行を促し冷え性の改善、高い保湿力で長時間しっとりとした肌を維持します。

⑤抗アレルギー・抗炎症
アレルギー反応を抑制し、にきびや赤み・かゆみなどの炎症を抑えます。

⑥更年期障害の改善
のぼせ・冷え・不眠・イライラ・頭痛・肩こり・疲労などの更年期障害を改善します。

注射方法

・効果的な注射の方法として、最初の1〜2ヵ月は週に1〜2回。その後は、1〜2週間に1回のペースをお勧めします。
・注射は、皮下注射または筋肉注射です。
・医師の処方により、点滴内投薬をおこなう場合があります。

ウィルスや細菌に対する安全性

本剤は製剤過程において、以下の汚染防止対策を行っています。
①原料提供者のスクリーニング（医療機関での検査・確認）
②受け入れ検査（B型肝炎・C型肝炎・エイズウィルスの検査）
③ウィルスの不活化処理（有機溶剤処理・酸処理・高圧蒸気滅菌処理）
④製品試験（②に加え、成人T細胞白血病・リンゴ病のウィルス検査を実施）

裏面に続く

⚜ 副作用

①注射部位の疼痛。過敏症（発疹・発熱・掻痒感）。注射部位の硬結。（通常2〜3日で消失）
②本剤はヒト組織由来のタンパク・アミノ酸等を含有する製剤の為、非常に稀ですがショックを起こすことがあります。
③その他：女性化乳房、急性肝障害

⚜ 注意事項

プラセンタ注射は、原料として国内のヒト胎盤が使用されていますが、生体由来のため感染症のリスクがある製剤として特定生物由来製薬の指定を受けています。原料となる胎盤はHIVやB型肝炎・C型肝炎などの感染症がないことが確認されています。

・ヒト胎盤エキス（プラセンタ）注射剤（ラエンネック、メルスモン）については、特定生物由来製品に該当するため、最終使用日から3ヵ月間は献血をご遠慮いただきます。
・骨髄移植は他人にすることができなくなり、骨髄バンクに登録できなくなります。
・既に骨髄バンクに登録している方は、登録の取り消しを行う必要があります。
尚、臓器移植については、移植を担当する医師の判断によっては、他人に移植できる場合もありますので担当医にご相談下さい。

投与に同意される方は、以上の説明を十分にご理解いただいたうえでご署名下さい。

なお、当院では施術は18歳以上の患者様に限らせていただきます。
ご不明点等ございましたら、医師・スタッフにご相談下さい。

プラセンタ注射同意書

私は、上記のプラセンタ注射の作用、副作用および安全性について十分に理解し、
プラセンタ注射を受けることに同意します。

年　　月　　日

患者氏名

お預かりした個人情報は「にしたんクリニック」の全ての医院で共有いたします。予めご了承下さい。

Nishitan Clinic
にしたんクリニック

医療法人社団直悠会 にしたんクリニック

261001_06